

会 議 録

会議の名称	第1回 阪南市外部評価委員会
開催日時	平成26年6月12日(木) 午後6時20分～午後9時00分
開催場所	阪南市役所別棟2階 第3・第4会議室
出席者	<p>【委員】</p> <p>壬生委員、掛谷委員、荒木委員、澤田委員、高橋委員</p> <p>【事務局等職員】</p> <p>福山市長、岩本参与兼総務部長、矢野総務部理事、 (みらい戦略室)川上室長、矢島室長代理、石橋総括主事、太田総括主事</p>
会議の議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 委員紹介 3. 委員長、副委員長の選出 4. 福山市長から外部評価委員会へ諮問 5. 外部評価実施要領(案)について 6. 外部評価施策の選定について 7. その他
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人

会 議 録

1. 開会あいさつ

○司会より

出席者全員の着席並びに傍聴人の受付時間終了につき、定刻より早い開始とする旨、委員全員の同意を得た上で、平成26年度第1回阪南市外部評価委員会を開催する。

委員総数5名に対し5名出席のため、阪南市外部評価委員会条例第5条第2項の規定により、会議が成立していることを報告する。

傍聴人なし。

○福山市長あいさつ

公私共にご多用のところ、阪南市外部評価委員の就任をお引受けいただき、また、第1回外部評価委員会にご出席いただき、厚く御礼申し上げます。

本市では、平成24年3月に策定した阪南市総合計画に掲げている将来像「ともにさかそう笑顔とお互いさまのまち 阪南」の実現に向けて、基本目標として7つの分野を設定し、42の施策を展開している。

この42の施策について行政評価を導入し、施策の課題や対応策の整理、事務事業の選択と集中を行い、次年度の実施計画である行政経営計画の策定に向けた見直しを実施し、PDCAサイクルの実効性を高め取り組んでいるところ。

総合計画を策定している多くの自治体においては、少子高齢化や人口減少にどのような施策を展開していくかという課題があり、本市においても例外ではない。また、南海トラフ地震等災害に対する施策もあり、全てが重要な施策と考えている。

委員の皆さんには民間で持ち得るノウハウを積極的にご提言いただき、評価していただきたいと考えるので、忌憚のない意見をよろしく願います。

2. 委員紹介

○事務局より委員の紹介

学識経験のある者として壬生委員、掛谷委員、市民として荒木委員、澤田委員、高橋委員。

○事務局より資料の確認

各委員に資料の不足がないことを確認。

3. 委員長、副委員長の選出

○阪南市外部評価委員会条例第4条第2項の規定に基づき、委員からの推薦により、壬生委員が委員長に就任。（異議なし）

○阪南市外部評価委員会条例第4条第4項の規定に基づき、壬生委員長の指名により、掛谷委員が副委員長に就任。

会 議 録

○委員長あいさつ

重要な役割を担う委員会である。委員の皆さんの忌憚のない意見をしっかり集め、委員会として阪南市のまちづくりに役立つ結果を市長に報告したいと考える。

委員の皆さんや職員の皆さんには、ご無理をお願いすることもあるかと思うが、より良い結果を出すために協力いただけるよう、よろしく願います。

○掛谷副委員長あいさつ

委員長を補佐する役目に徹しながら、委員の皆さんから忌憚のない意見をいただき、少しでも阪南市のまちづくりに役立つことができると考えているので、よろしく願います。

4. 市長から委員会への諮問

○福山市長から壬生委員長へ諮問書の提出（諮問後市長退出）

5. 外部評価実施要領（案）について

○事務局より外部評価実施要領（案）について説明（質疑の後、了承される）

【主な意見・質疑】

委員長

第5「委員会の公開」について、原則は公開、ただし、評価に係る協議は非公開。また、会議録を市民に公表するとなっているが、これについて意見はないか。

（異議なし）

委員長

その他、意見や質問があれば願います。

委員

第7「質問票の提出」について、委員会当日の質問内容が制限されるのか。

事務局

質問票はヒアリングの円滑な進行を図るためのものであり、委員会当日の質問内容を制限

会 議 録

するものではない。

委員

内部評価と外部評価の差異について、どのようなものを想定しているのか。

事務局

第9「評価方法」(1)の判定区分や(2)判定理由において、行政内部の視点と外部委員の視点で差異が出るものと想定している。

委員

第11「評価結果の活用」における「市は」の示すところは事務局か。外部評価結果は、総合評価に生かされるのか。

事務局

「市は」の示すところの最終は市長。外部評価委員会条例第2条のとおり、外部評価委員会では「市が実施する内部評価を検証」していただく。評価結果に差異が出た場合は、外部評価委員会における評価結果を考慮しつつ、最終的に市の判断による総合評価になるので、了承の上、外部評価に臨んでいただきたい。

委員長

他に意見がなければ、外部評価実施要領については事務局(案)のとおり了承していいか。

(異議なし)

委員長

では、ここからは、外部評価実施要領に基づき、本委員会を運営する。

6. 外部評価施策の選定について

○事務局より各施策の概要について説明

委員長

市長より42の施策について外部評価を実施するように諮問されたが、今年度が外部評価制度の導入初年度であることに加え、42施策全てについて評価することは日程的にも非常に困難である。外部評価を実施する施策については、10施策以内に絞り込むこととしたい。

第2回、第3回、第4回外部評価委員会で施策のヒアリングを実施、評価を行い、第5回外部評価委員会で評価結果をとりまとめ市長に答申することとしたいが、意見はないか。

会 議 録

(異議なし)

【主な協議内容】

委員長

施策選定については、各分野からそれぞれ1施策は必ず選定し、分野が偏らないように、また、施策の主担当課が重複しないように配慮したいが、いかがか。

(異議なし)

委員長

それでは、外部評価を実施する施策を選定していく。施策を選定する上で必要な確認事項や意見があればお願いしたい。

委員

判定区分の「★」の数は、誰が決めているのか。判定基準はあるのか。

事務局

判定区分の「★」の数は内部評価として施策の担当部局が判定している。判定に明確な基準はない。

委員長

今の質問は非常に重要なこと。評価に関わる内容が全てシートに記載できているかという
と、できていない。複数年外部評価を継続していくことで、評価できるシートになるよう、
制度のブラッシュアップ含め提言していくことも本委員会の役割のひとつ。

委員

個別の計画を策定している施策について、計画策定の時期を考慮し外部評価を実施するのはどうか。

事務局

平成25年度の取組内容や実績について評価していただきたいため、計画策定の時期は加味せずに外部評価を実施する施策を選定していただきたい。個別の計画についても総合計画を踏まえたものになっており、いただいた意見は生かせるものとする。

委員

会 議 録

本委員会の意見を生かしていただけるため、計画策定中の施策を選定することは有効であると考えている。複数の施策において選定で迷った際の目安とすればいい。

委員

市として本委員会において、絶対に評価してほしいという施策はないか。

事務局

全て重要な施策と考えている。

委員長

まず、協働の要である第1章「協働社会の推進」や、市民の関心が高いと思われる第3章「地域防災の推進」、第5章「観光の振興」は選定したいと考えるが、いかがか。

(異議なし)

委員長

続いて、重要なものとしてどの施策を選定するか、意見があれば願います。

委員

ヒト・カネに関する施策は行政に限らず重要。第7章の「人材育成の強化」「健全な財政運営」ははずせない。議論に値する施策。

委員

第2章の「健康づくりの推進」は、検診受診率の向上や、医療費の抑制にもつながり、財政状況の改善にもつながる。

委員

市長のあいさつでも話があった高齢化社会に関する施策として第2章の「介護保険の健全運営・高齢者支援の充実」も重要ではないか。計画策定のタイミングでもある。

委員

「介護保険の健全運営・高齢者支援の充実」は計画策定もあり、選定すれば評価結果を活用してもらえる施策と考える。ただし、計画策定にこだわるつもりはない。

委員

第2章の「介護保険の健全運営・高齢者支援の充実」は来年度以降に選定してもいいと感じた。

会 議 録

第4章は「生涯学習の推進」などもあるが、将来を見据えた場合、良いまちづくりのためにも「学校教育の充実」や「幼稚園教育の充実」に重点を置くべきと考える。

委員

「幼稚園教育の充実」は、子ども・子育ての計画に関係した施策。早めに評価したい。

委員長

第2章、第4章、第7章で複数の施策が候補にあがっており、一部意見が分かれている。候補の施策が出ていない第6章についてまず決定したい。

委員

第6章は「公共交通の利便性向上」も重要と思うが、今年度は「安全で快適な交通環境づくり」でどうか。

(異議なし)

委員

事務局へ質問する。人口減少や少子高齢化を踏まえ、どういう世代をターゲットにした人口増加の施策が必要かという視点で、阪南市に転入してくるのは、若い世代かシニア世代か。

事務局

新しく開発されるところについては若い世代が転入してくるが、丘陵部では高齢者が都心部に転出する傾向にある。

委員

どの世代にターゲットを置くかという点では、将来的な視点で子どもの施策に重点を置くべきではないか。第4章の生涯学習に関する施策はすでに教育を受けてきた人のニーズという感覚。

委員

若い世代をターゲットに人口増加を図るのであれば、幼稚園や保育所に関する施策を実施すべき。第4章は「幼稚園教育の充実」「学校教育の充実」がいいのではないか。

委員

「幼稚園教育の充実」を選定するのであれば、第2章の「子育て支援の充実」もあわせて実施するべきではないか。

会 議 録

委員長

第2章の「子育て支援の充実」、第4章の「幼稚園教育の充実」「学校教育の充実」はセットで外部評価すべきとの意見が出ている。この3施策を選定するとしていいか。

(異議なし)

委員長

第2章からは「健康づくりの推進」と「介護保険の健全運営・高齢者支援の充実」も候補にあがっている。すでに「子育て支援の充実」を選定しており、分野の偏りを防ぐためには、どちらかひとつに絞る必要があるが、意見はないか。

委員

健康づくりを推進し検診受診率を上げることで、市の財政の圧迫を防ぐ。財政基盤強化という視点で「健康づくりの推進」を選定してはどうか。介護保険は健全運営で当たり前と感じる。

委員長

「健康づくりの推進」については、先ほども他の委員から同様の意見があり、説得力のある意見と考える。市が進めているスマートウェルネスに直結する施策でもある。「健康づくりの推進」を選定するとしていいか。

(異議なし)

委員

議論で次点となった施策については、次年度優先的に検討するとしてはどうか。

(異議なし)

委員長

他に意見がなければ、対象施策のとりまとめを行う。

第1章の協働社会分野からは「協働社会の形成」、

第2章の健康・福祉分野からは「健康づくりの推進」と「子育て支援の充実」、

第3章の生活環境分野からは「地域防災の推進」、

第4章の教育・生涯学習分野からは「幼稚園教育の充実」と「学校教育の充実」、

第5章の産業分野からは「観光の振興」、

第6章の都市基盤分野からは「安全で快適な交通環境づくり」、

第7章の行政経営分野からは「人材育成の強化」と「健全な財政運営」

会 議 録

以上の10施策を、今年度外部評価を実施する施策として選定する。

なお、協議の中で候補にあがったものの選定しなかった施策については、来年度、優先的に検討することとする。

(異議なし)

委員長

選定された施策については、本委員会の意気込みとして受け止めていただき、事務局には準備をお願いします。

事務局

今後の予定として。選定していただいた施策のヒアリング日程については、施策の関係課と調整の上、通知させていただく。

事前質問票については、各ヒアリング日程の1週間前までに提出をお願いします。

7. その他

○事務局より、施策シート・事務事業シートの見方及び評価の実施方法（案）について説明

【主な意見・質疑】

委員

事務事業シートに「施策のめざす姿への寄与度」とある。ランクの数はいくつあり、誰が決めたものか。

事務局

ランクは「高・中・低」3ランクで、担当課が判断している。

委員

評価のとりまとめについては、1日ごとに完結させるのか。

事務局

そのとおり。1日に3施策または4施策のヒアリングを実施し、その後、評価のための協議の中で、外部評価（案）として方向性を出していただく。第5回外部評価委員会で、とりまとめたものを基に外部評価を確定していただく。

委員

会 議 録

評価の実施方法（案）は、シート確認、事前質問票への記載、自由な意見交換のための指針ということか。

事務局

そのとおり。評価する目安として提案させていただいたもの。

委員長

内部評価をそのまま認めるのか、評価を上げるのか、評価を下げるのかを時間内に決定し、担当課に伝わるように判定理由を記載する。評価の実施方法（案）については、評価する際の目安として捉えて、時間内にしっかり議論するという方針でいいか。

事務局

よろしく願います。

委員

流れとしては、まず施策シートで評価し、必要に応じて事務事業シートを確認するという理解でいいか。

事務局

そのとおり。

委員

施策の成果指標については、現状を把握できるものになっているのか。この指標ありきで進めるのか、もっと違う指標があるのではないか、との提言も可能か。

事務局

指標設定については課題認識しているが、前期計画の評価は現在の指標で進める。ただし、後期計画でより評価に生かせる指標を設定するため、提案や意見があればいただきたい。

委員長

ほかに意見や質問がなければ終了する。

最後に、委員の皆さんに委員長として一点お願いしたい。

短時間での評価となり、ヒアリングをしながらゼロから評価を考えるのは非常に難しい。事前質問票を提出する際には、判定区分（「★」の数）について、予め自分の意見を持っておいていただき、ヒアリングの中で検証し、協議できるように備えていただきたい。

以上で、平成26年度第1回阪南市外部評価委員会を閉会する。

次回の第2回外部評価委員会は、7月3日（木曜日）午後6時30分から、市役所本庁舎

会 議 録

3階の全員協議会室で行う。

(閉会)